

記者発表

原子力機構大洗 高速実験炉「常陽」管理区域内における 放射性物質を含む水の漏えいの確認について（速報）

平成19年4月26日
生活環境部原子力安全対策課

- 1 発生日時
平成19年4月26日（木）16時40分頃
- 2 発生場所
日本原子力研究開発機構 大洗研究開発センター
高速実験炉「常陽」附属建家（管理区域内）
- 3 状況
 - (1) 本日16時40分頃、高速実験炉「常陽」附属建家の廃ガス処理室（地下2階）において水の漏えいを確認。
漏えい水には、放射性物質が含まれていることが判明。
廃ガス処理室の上部階である水冷却池機器室¹を調べたところ、床面に水の漏えい（漏えい量；約150リットル、 $3.5 \times 10^2 \text{Bq/cm}^3$ ）を発見。
なお、漏えいはすでに停止している。
原子力機構大洗は対策本部を設置し、原因調査中。
なお、「常陽」は現在運転停止中。
 - 1 使用済燃料貯蔵プールの隣にあり、水冷却系循環ポンプ等が設置されている部屋
 - (2) 環境への影響 ; なし
 - (3) 人の汚染・被ばく ; なし
 - (4) 原因 ; 調査中

本件については、後刻、日本原子力研究開発機構大洗研究開発センターにより記者発表が行われる予定。